

別記
第1号様式(第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	2018年6月22日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地	氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 日本製紙クレシア株式会社 代表取締役社長 山崎和文 電話 03 - 6665 - 5300
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	I S O 1 4 0 0 1 : 2 0 1 5
適 用 範 囲	日本製紙クレシア株式会社 京都工場
導 入 年 月 日	2003年12月19日
認 証 番 号	E 1 2 2 1
基 本 方 針	①地球温暖化対策 ②森林資源の保護育成 ③資源の循環利用 ④環境法令の順守及び環境負荷の低減 ⑤環境に配慮した技術・製品の開発 ⑥積極的な環境コミュニケーション ⑦再生可能エネルギー発電設備の更なる導入検討 ⑧商品別エネルギー原単位対前年1%削減の達成
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	・環境事故ゼロ 環境事故0件、環境ヒヤリ0件、環境苦情0件、環境法令の順守 ・省エネルギーの推進 受電契約電力12,200kw以下での運用 ・産業廃棄物発生量の削減 最終処分量を製品当たり0.01%以下の継続 廃棄物処理費用必達(1,560万円/年以下) ・積極的な環境コミュニケーション 工場見学受入れの推進、ライトダウンキャンペーンへの参加 ・環境に配慮した製品の開発 FSC認証製品の提供
目標を達成するための取組の内容	・環境事故ゼロ 日本製紙グループ環境事故水平展開、環境計器定期校正、環境提案2回/年 夜間パトロール、夜間避難訓練、総合防災訓練 ・省エネルギーの推進 省エネ委員会活動、歩留改善、最大電力デマンドコントロール 再生可能エネルギー発電設備の導入 ・産業廃棄物の削減 廃棄物委員会の活動、分別の継続、分別の再教育、廃棄物処分業者の視察 ・積極的な環境コミュニケーション 工場見学(一般の見学者、お客様、近隣自治会) ・環境に配慮した製品の開発 FSC-MIXの使用クレジットの確認、FSC教育、内部監査、定期審査
目標を達成するための取組の進捗状況	・環境事故ゼロ 環境事故0件/2ヶ月、環境ヒヤリ2件/2ヶ月、環境苦情0件/2ヶ月 ・省エネルギーの推進 最大電力 11,700kw/2ヶ月 ・産業廃棄物の削減 廃棄物処理費用 236万円/2ヶ月、製品重量当たりの最終処分量 0% ・積極的な環境コミュニケーション 工場見学者の随時受入れ 4件/2ヶ月、36名/2ヶ月 ライトダウンキャンペーン参加(6/21, 7/7) ・環境に配慮した製品の開発 発生クレジット3,981t/2ヶ月、使用クレジット183t/2ヶ月 残高クレジット17,194t
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	環境事故ゼロがヒヤリ2件で目標未達である為、環境法令順守の下、環境パトロールの継続、環境設備の点検、総合防災訓練及び夜間避難訓練を実施し、継続して取り組む。その他はほぼ計画通りに取り組む事が出来ている。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況について1ヶ月に1回環境情報誌及び本社からの環境週報等で確認を行っている。これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価及び見直しについては、原則として1年に1回社内内部監査、認証機関による外部監査、経営者による見直しを実施している。平成29年度はISO14001:2015のシステムへ移行して一定の成果が見られた事から、平成30年度も同一のシステムにより運用した。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。